

令和3年度 道の駅たかねざわ 元気あっぷむらに関する  
サウンディング型市場調査（官民対話）の結果について

現在、道の駅たかねざわ 元気あっぷむらでは、民間の専門的な技術やノウハウを活用したサービスの向上や経費縮減などを図る目的で、指定管理者制度を採用しています。

令和2年4月1日にリニューアルオープンした本施設の現行の指定管理期間は令和7年3月31日までであり、より効果的な施設運用に向けた情報収集を行っています。

今回はその一環として、より多くの民間事業者に参加いただき、町民サービスの効果的・効率的な提供につなげることを目的として、サウンディング型市場調査（官民対話）を実施しましたので、その結果を公表します。

### 1 スケジュール

期日	項目	備考
令和3年12月1日（水）	参加申込受付開始	
令和3年12月13日（月）	対話シート受付開始	
令和4年1月31日（月）	参加申込・対話シート受付終了	参加申込は15時まで
令和4年2月14日（月） ～18日（金）	サウンディング調査	オンライン実施
令和4年3月中旬	結果の公表	

### 2 参加者

参加申込みのあった5社と個別対話を実施しました。

（会社名は非公開）

### 3 主な意見

1 施設のスペックについて
・「温泉・食事・物販・宿泊・公園スペース・自然環境・道の駅」とリゾート事業に必要な要素は、ほぼ全て揃っており、大変魅力的である。
・道の駅は幹線沿いにあるものだが、「道の駅たかねざわ 元気あっぷむら」はそこにないので、ビジネス内容の再構築が必要である。
・施設面ではかなり時代にあったもので、スペックの高いものを作られているなどという印象。民間としても活用がしやすいと思っている。立地的にも問題ない。単純にグランピング施設としても、民間に劣らないスペックがある。
2 町が管理にあたって要求している条件について
・要求水準はハードルが高すぎることは書いていない。町の要求するものがあること自体はあってしかるべき。

- ・町の条件に対してどうアンサーしていくかは民間企業側の問題。ただ、この要求水準書は施設の運用面のことがほとんどのようで、もっと大きく企業に期待する内容をはっきりと記載してほしい。
- ・維持管理としての指定管理ではなく、付加価値や自主事業の運営にウェイトが大きい施設だということを明記した方が良いのかもしれない。
- ・管理期間が5年だと、物品のリース、プロモーションの規模感などを考えるとどうしても小さくせざるを得ない。一方で、長くなればなるほど、老朽化への対策も必要になるので、期間を考えるときはその両方のバランスを取る必要がある。また、必要最低限の費用がほとんどイコールで指定管理料とし、その代わり、自主事業で得た利益の数割を行政に返還するインセンティブ方式の方が取り組みやすい。
- ・このような複合的な大規模な施設においては、ある程度長期的（7～10年程度）な運営期間があると、大きな設備投資なども行えるため、ニーズに合った魅力的な施設にしていくことが可能。
- ・高根沢町が求めていることは特に問題ない。道の駅のことを理解している管理者であれば、当たり前のことを記載しているだけという印象である。
- ・温泉を負担に思う事業者がいるかもしれないが、客観的に見れば逆に完全にメインとなる施設であり、温泉から全てに誘導するようなイメージで運営しなければいけない施設だが、現状の施設や資料を見る限り、今の運営では負担になっていると思われる。

### 3 その他

- ・公募のスケジュールについて多くの自治体が9月議会を目掛けてプロポーザルをかけるため、夏に集中しがちである。逆にそこをずらすと人員を割けるためチャレンジしやすくなる。